



12月の支援事業から



なかよし一む・ なかよしでは...

お母さんたちと一緒に、クリスマスバッグを作りました。お母さんたちの出し物では、「三匹のこぶた」や「パブリカのダンス」「クリスマスの演奏」を楽しみました。子ども達と一緒に踊って、賑やかで、楽しい時間を過ごせました♪



なかよし一む&ミックス...

シャンシャンシャン♪
あわてんぼうのサンタさんが、やってきてくれました。泣いていたお友達もサンタさんからのプレゼントには、しっかり手を伸ばしていましたよ！

保健師講話もありました♪



シニアサロン...

誕生会・クリスマス会にご招待！
サンタさんに変身してもらったYさんに、プレゼントを配ってもらいました。子ども達は、瞳をキラキラ輝かせていました(*^_^*)
子どもたちの様子を温かく見守ってくださったシニアサロンの皆さんです♪



「シニアサロンぽぽら」に遊びにきませんか

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方にお越し頂き、楽しいひと時を過ごしています。

日時：1月22日(水) 10時から12時

内容：三光保育園園児の生活発表会(再演)をご覧ください！

場所：地域子育て支援センター「さんこうぽぽら」

電話でお申し込み下さい。

※次回は、2月28日(金)の予定です。

♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。

※毎月第3火曜日の14時～16時までは、西九大短期大学部教員による食育相談を行っています。

★事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。



さんこう・ぽぽら開放の 時間帯について

【開園日】

★月～金

(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

【時間】

★9:00～12:30

- ・園行事の為、ご利用できない場合があります。
- ・出前支援の場合は、担当職員が不在になります。

★12:30～13:30

昼休みの為閉園

★13:30～16:00

この時間帯のご利用の場合は、電話での申し込みをお願いいたします。

永原学園地域子育て支援センター さんこう・ぽぽらだより

2019年1月発行 第153号

認定こども園 西九州大学附属三光保育園

TEL:0952-31-6877

新年あけましておめでとうございます。

いよいよ、令和2年子年(ねずみどし)、2020年東京オリンピックの年が始まりました。これからは少しずつ昼が長くなり、楽しみに近づいていきそうな期待感があります。色々な競技には世界中から若い人たちが大勢出場します。子どもたちと一緒にいろいろな国の国旗を見比べながら応援したいと思います。

さて、皆様のお正月はいかがでしたか？ 子どもたちに聞いてみると、家族で温泉に行ったり、お餅をたくさん食べたり、映画を見に行ったりと、家族でとても楽しんだ様子が伝わってきました。両親共働きが当たり前のようになってきた社会状況の中で、家族がゆっくりじっくり過ごす時間はとても貴重だと感じました。

お正月に色々な刺激を受けて、興味や関心が広がり、それらのことを保育の中でどのように生かしていけるか楽しみながら過ごしていきたいと思います。

ぽぽらに集われる皆様も、子どもの小さな育ちに気づいて子育てを楽しんでもらえればと願います。今しばらくは、感染症の流行にご留意ください。

今年もよろしくお願いいたします。

三光保育園長

「なかよしミックス」に遊びにきませんか！

就園前までのお子様と保護者の方が一緒に参加して親子で楽しく遊ぶ集いの場です。

★第10回目の1月は、下記の日程で実施します。

日時：1月14日(火) 10:00～12:00

1月15日(水) 10:00～12:00

内容：三光保育園園児の生活発表会(再演)を一緒に見ましょう！

場所：地域子育て支援センター「さんこうぽぽら」

持ってくるもの：コップ

※事前のお申し込みが必要です。いずれの日も先着10組の親子)

※電話の受付は、1月6日(月)からです。

平日9:30～17:00までにご利用します

1月の「フリーティ」について

保育園の支援センターを下記の日程で開放

日時：1月29日(水) 10:00～12:00

1月30日(木) 10:00～12:00

※事前の連絡は、必要ありません。



子育て便り

「親子で楽しむ絵本」

心理カウンセリング学科 特任講師 村岡淑恵

幼児期の子育ての忙しさ

子育てをしていると、毎日があっという間で「今日は、何日だっけ!？」と日付も分からず、「今日は、○曜日で、週末はあれしたでしょう〜!？」などと、記憶をたどりながら何とか日にちを思い出すことで、とても忙しい日々を送っていたのだと再確認することは、日常的な出来事。この年末年始は、行事も盛りだくさんで、休めないお母さんも多いことでしょう。そのような親の忙しさには関係なく、子どもたちは元気いっぱいに遊んでいるのではないのでしょうか？

しかし、幼児期は、「ママも一緒に!」「きょうだいゲンカが勃発」「散らかし放題」などと、まだまだ手がかかりますよね。もちろん、1人遊びやきょうだいと遊ぶ、片付けも上手になってくる時期でもあります。また、幼児期といっても発達の幅が広いので、その子の年齢や興味・関心などは、さまざまだと思います。

子育てのアイテム『絵本』

このような幼児期の子育てにおける私の必須アイテムは『絵本』でした。子どもをあやすとき、子どもをしつけるとき、子育てに行き詰ったとき・・・色々な場面で、たくさんの『絵本』が親子の助け舟となってくれたと思っています。

私の絵本の選びのポイントは、子どもの興味・関心だけでなく、子どもに知ってほしいこと、色彩やイラストが好みなど、私もウキウキするような絵本を見つけることです。また、絵本には、子どもの年齢の目安が示されていますが、それだけを気にせずに、子どもが興味・関心を示す内容を楽しむことが大切だと考えています。

例えば、子どもは、物語が描かれている絵本であっても、イラストだけを楽しむことがあります。お母さんとしては、その物語を読み進めたいところですが、子どもはイラストを見てところが動いているのです。その場合は、お母さんも一緒に子どもが見ているイラストに注目して、「かっこいいね〜!」「きれいね〜」など言葉をかけ、その子にあった絵本の楽しみ方に寄り添うのです。それが、親子で絵本を楽しむコツだと思っています。

子どもとお母さんのところをつなぐ絵本

しかし、子どもの興味・関心は変化していきます。例え繰り返し何回読んだ絵本であっても、子どもの注目する視点や、リアクション、読み方などは、一定ではありません。読むたびに、子どものところが育まれていることを感じます。

また、私にとって『親子で楽しむ絵本』の時間は、日々の慌ただしい生活をちょっと置いて、子どもと一緒にくすっと笑い、子どもの温かさを感じることに繋がっています。

親子で絵本を楽しむことは、子どもの成長だけでなく、子育てに奮闘するお母さんのところの支えになることを願っています。



食育便り

【食品の安全性】給食は HACCP によって安全で衛生的に作られています！

西九州大学 健康栄養学部 健康栄養学科 講師 緒方 智宏

日本の食品業界を取り巻く環境は、食品流通の更なる国際化、外国人労働者や海外からの観光客の増加、さらには 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催など目まぐるしく変化しています。そんな中なんとなく不安になるのが食品の安全性です。

そこで今日は、食品を安全で衛生的に消費者へ届けるための管理手法である HACCP についてお話ししたいと思います。

現在 HACCP は、国際的な食品衛生管理の手法として多くの国で採用されており、私たちが普段口にする輸入食品の安全性の確保にも一役買っています。HACCP とは、原材料の受入から最終製品までの工程ごとに、微生物による汚染や異物の混入などの危害を予測した上で、危害の防止につながる特に重要な工程を監視し、記録することによって、製品の安全性を確保する食品の安全衛生管理手法です。これまでの最終製品の抜き取り検査に比べて、より効果的に安全性に問題のある製品の出荷を防止できるとされています。



図. HACCP による衛生管理手法（厚生労働省 HP）

そんな中、東京オリンピック・パラリンピックが 2020 年に開催されます。世界中の注目が日本に集まる機会にもなり、日本の食品衛生管理の安全性を示すために HACCP の義務化が平成 30 年に公布された食品衛生法等の一部を改正する法律で決定しました。対象は、すべての食品等事業者です。給食施設も例外ではありません。

多くの給食施設は、HACCP の義務化が決まる前から、HACCP による衛生管理手法を取り入れた「大量調理施設衛生管理マニュアル」によって安全で衛生的な給食を提供してきました。このマニュアルは、重大な食中毒事件を発生させないよう 1996 年の腸管出血性大腸菌 O157 による集団食中毒事件をきっかけに作成されました。学校給食では「学校給食衛生管理基準」により同様な衛生管理が実施されています。このように、日本人に馴染み深い給食は、食中毒等の事故が起こらないように様々な工夫がされて日々安全で衛生的に調理されています。